

第1章

事業の概要

1 「東南アジア青年の船」事業の経緯及び内容

(1) 経緯

昭和49(1974)年の日本と東南アジア諸国との共同声明に基づき、日本政府とASEAN各国政府の共同事業として開始された。

(2) 内容

日本及び東南アジア諸国の青年が船内での生活や寄港地における活動を共にしながら、各国が共通して抱える社会課題の研究・ディスカッションや各種の交流活動を行う場を提供することにより、日本青年を、国際的視野を備え、国際社会・地域社会が抱える課題の解決に向けて指導性を発揮できる人材へと育成するとともに、青年相互の友好と理解を促進し、国際親善を図ることを目的とする。

2 令和7年度事業の概要

(1) 交流国

ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、東ティモール民主共和国、ベトナム社会主義共和国(10か国)

※ ミャンマー連邦共和国は不参加

(2) 参加者

- ・ ナショナルリーダー(NL)(各国1名)
- ・ 日本参加青年(19名、18～30歳)
- ・ 外国参加青年(各国16名、18～30歳)(※)

※ 東ティモール民主共和国は6名

(3) ディスカッションのテーマ

- ① 質の高い教育
- ② 経済成長と持続可能で責任ある観光
- ③ 地球環境と気候変動
- ④ 防災と復興
- ⑤ 社会福祉と包摂的な社会の実現
- ⑥ デジタル社会と人工知能(AI)

(4) 使用船舶

「にっぽん丸」(商船三井クルーズ株式会社)

(5) 日程及び主な活動

① 事前研修

- ・ 日程：令和7年9月12日(金)～16日(火)(5日間)
- ・ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 等
- ・ 対象：日本参加青年
- ・ 主な活動：アイスブレイク・チームビルディング、自主活動、ディスカッション講座 等

② 出航前研修

- ・ 日程：令和8年1月13日(火)～15日(木)(3日間)
- ・ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 等
- ・ 対象：日本参加青年
- ・ 主な活動：自主活動等

③ 本体プログラム

- ・ 日程：令和8年1月16日(金)～2月16日(月)(32日間)
- ・ 対象：日本参加青年及び外国参加青年
- ・ 航路：日本(東京)～シンガポール～タイ(バンコク)
- ・ 主な活動：

(ア)国内プログラム(令和8年1月16日(金)～1月24日(土)(9日間))

- i. 東京プログラム(下記iiを除く期間(5日間))
 - ・ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 等
 - ・ 主な活動：参集式、総理表敬、御引見、課題別視察 等

- ii. 地方プログラム(令和8年1月17日(土)～20日(火)(4日間))

- ・ 場所：岩手県、千葉県、富山県、徳島県、長崎県(いずれか1県)
- ・ 主な活動：表敬訪問、ホームステイ、地元青年との交流活動 等

(イ)船上プログラム(令和8年1月25日(日)～2月16日(月)(23日間))

- i. 船上プログラム(下記iiを除く期間(12日間))
 - ・ 場所：船上
 - ・ 主な活動：ディスカッション、文化交流 等

- ii. 寄港地活動(令和8年2月4日(水)～8日(日)(シンガポール・5日間)及び2月11日(水)～

16日(月)(タイ・6日間))

- 場所：シンガポール及びタイ(バンコク)
- 主な活動：政府機関表敬訪問、ホームステイ、課題別視察、現地青年との交流、成果発表 等

(6)経費負担

- ① 以下の経費については、原則として日本政府が負担。
 - 船の運航に要する経費(傭船料等)
 - 日本参加青年、外国参加青年等(ナショナル・リーダーを含む)、ファシリテーター、事後活動組織代表者、各国政府代表者の自国と参集・解散場所との間の往復に係る航空運賃 等
- ② 以下の経費については、原則として寄港国政府が負担。
 - 寄港地活動中の経費(宿泊費、食費、交通費等)